

行動提起

取り組み概要

世論と運動は成果をあげつつあります。しかし小池都政は保健所増設に背を向けています。

地域で運動を進め、幅広く声をかけて、賛同する団体をいっそう広げましょう。

都知事選挙で保健所増設を実現する知事を誕生させましょう。

5月17日の第2回対都要請行動に参加しましょう。

1) 運動の成果と課題

23区には、区ごとに保健所があります。八王子、町田以外の三多摩28市町村には5つの保健所しかありません。その脆弱さが命にかかわる問題であることをコロナが明らかにしました。都は保健師など保健所職員の一定の増員及び保健所と市町村との連携のための職員増を決め今年度予算に組み込みました。これは、世論と運動の成果です。しかし、小池都政は保健所増設の要求には背を向けたままです。

2) 地域の運動がカギ

運動の主戦場は地域です。コロナ禍で多くの人が苦しみました。その深刻な実態を突きつけ、検証を迫ることが、地域に密着した保健所復活への展望を切りひらく力になります。学習、宣伝、署名、集会などに取り組み、首長、議会に働きかけましょう。

3) 知事選は重要な機会

7月7日投票で行われる都知事選は重要な機会です。多摩地域の保健所増設を知事選の争点に押し上げ、保健所増設を実現する知事の誕生をめざしましょう。

4) 5月17日対都要請

5月17日16:00から都議会棟6階控室2で、第2回の対都要請を行います。
15:15に、都議会棟前の都民広場に集合してください。参加する方は、前日までに下記連絡先にメールでお知らせください。

5) 都知事への要請書の集中

都知事への要請書は、可能な限り5月16日までに事務局に送付をお願いします。
都への要請書の集中は、都知事選後も新知事名に切り替えて行います。引き続き賛同を広げてください。

多摩地域の保健所増設を求める会

呼びかけ人

窪田 之喜（三多摩健康友の会 会長）

杉井 静子（ひめしゃら法律事務所 所長）

中山 和人（コロナ対策三鷹市民連絡会 事務局長）

連絡先：連絡は、メールまたはFAXで

メール：hokenjo.santama@gmail.com

FAX：050-3728-4364